



# 柏原中だより

令和7年3月 年度末特別号 狭山市立柏原中学校

〒350-1335 狭山市柏原2520-11 TEL04-2954-5073 生徒数 258名

<学校教育目標> 今を精いっぱい生きる・凡事徹底 ○希望を持って進む生徒

## 第43回卒業証書授与式・88名の卒業生柏中を巣立つ <3月14日>

第43回卒業証書授与式が、3月14日（金）に本校体育館で挙行されました。ご来賓として狭山市教育委員会教育長 様、狭山市議会議員 様、柏原小学校長 様、本校PTA会長 様、ご臨席のもと、柏原地区学校運営協議委員の皆様、保護者の皆様にご出席をいただき、88名の3年生の卒業をお祝いすることができました。本校PTA会長の 様からは、当事者意識の重要性について「『自分ができることは何か』『自分がどうあるべきか』と常に考え、行動していきましょう」と、今後の卒業生の活躍を期待する言葉が贈られました。その後、卒業生を送る言葉として、在校生代表で生徒会長の さんからは、卒業生への感謝や「先輩方のように切磋琢磨し、新たな柏原中学校を築く存在となれるよう精進します」と、力強い決意が述べられました。そして、前生徒会長の さんが、別れの言葉として、柏原中での3年間は宝物であること、先生方、在校生、保護者、ご来賓への感謝を自らの言葉で丁寧に、それぞれの方を向いて語りかけ、会場は感動に包まれました。 さんと さん、2人の代表の言葉はそれぞれの思いが込められ、本当に素晴らしいものでした。全校合唱「旅立ちの日に」は さんが指揮、 さんが伴奏、卒業生合唱「プレゼント」は さんが指揮、 さんが伴奏を務めてくれました。暖かな好天にも恵まれ、厳粛な中にも出席者全員の気持ちが通い合う、感動的な素晴らしい式になりました。皆様、本当にありがとうございました。



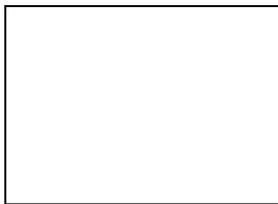
卒業証書授与



校長式辞



送る言葉



別れの言葉



全校合唱「旅立ちの日に」



卒業生合唱「プレゼント」

**おめでとう！ 柏原中生、活躍しています！（敬称略）**

**令和6年度埼玉県郡市対抗学年別中学生ソフトテニス大会 3月1・2・22日**

狭山市選抜チームとして県大会出場（出場認定証）

2年男子：

2年女子：

1年女子：

**埼玉県バレーボール協会長杯狭山市予選会優勝 3月2日（県大会へ）**



**スターゼンカップ第55回日本少年野球春季全国大会出場 3月26日**

2年

## ※ 卒業式で述べられた、生徒代表の言葉を掲載します。

### 「卒業生を送る言葉」

卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。長いようで短い二年間。眼を閉じると先輩方と過ごした日々の思い出が鮮やかに蘇ってきます。

入学式の日、体育館に一步入ったときの先輩方の背中はとても大きく感じられました。後ろを振り返らなくても伝わってくる先輩方の存在感と同時に感じる温かな眼差しは、緊張する私たちの心を優しく包んでくれました。

部活動では、新入部員が私一人で先輩方と共に上手くやっていたらと思う。そんな不安や緊張を胸に私は入部を迎えました。しかし、科学部の先輩方は、そんな私に親身になってアドバイスをしてくださったり、ときには場を和ませてくださったり、優しく受け入れてくださいました。そして、気付けば不安や緊張は自信へと変わっていきました。また、研究の際には着眼点が鋭くレベルの高さに圧倒されました。熱心に研究に取り組む姿は輝いていて私も先輩方のようにありたいと強く思いました。

先輩方と協力して競い合った体育祭では「柏中に不可能という文字はない！」というスローガンのもと一丸となって素晴らしいリーダーシップを発揮し私たちを引っ張ってくれました。また、先輩方は、私達が競技している時も全力で応援してくださいました。その声援が大きくなっていくことは言うまでもありません。真剣に取り組むその姿はとても格好よかったです。

初めての生徒会本部活動では右も左もわからない中、それでも責任と緊張だけは強く感じました。プレッシャーに押し潰されそうになった日や、失敗に落ち込む日もありました。そんな時はいつも、先輩をはじめとする生徒会の先輩方は的確なアドバイスをくださいました。行事前やテスト前などの忙しいときにも時間を作り、相談に乗ってくださいました。素晴らしい先輩方と過ごしているうちに私も後輩を引っ張り何事にも対応できる先輩方のようになりたいと憧れ生徒会会長に立候補を決意しました。

こうして振り返ると、先輩方の存在がどれほど大きかったことでしょうか。私たちは先輩方から多くの教えや学びという素敵な思い出をいただきましたが私たちは何かを返すことができたでしょうか。これから先、先輩方から受け継いだ伝統や学びは私達にとってかけがえのない宝物であり、これからも守っていかねばならないものとなります。私達は先輩方のように切磋琢磨し、お互いを尊敬し合いながら、団結力を強くし、新たな柏原中学校を築く存在となれるよう精進してまいります。私たちが追いかけていた先輩方の大きな背中は今も見ることができません。今度は私たちが後輩に自分達の姿を見せる番です。目標としてきた先輩方のようになれるよう最善を尽くしていきます。先輩方のご健全とご活躍を祈念して、送辞といたします。

令和七年三月十四日 在校生代表

### 「卒業生別れの言葉」

二十四億分の一。この数字が何を表しているかわかりますか。地球上で親友と呼べる人と出会う確率は、二十四億分の一なんだそうです。

私はこの話を聞いたとき、卒業生八十八名の顔を思い浮かべました。そんな大切な仲間と出会うことができた柏原中学校での日々は、私にとって宝物です。

私立受験前、私たちに配られた紙には、柏中全職員の方々からの応援メッセージが書かれていました。一つ一つの言葉が自分自身を落ち着かせ「私にはこんなに味方がいる。大丈夫だ」と思うことができました。私は、全職員で生徒を応援してくれる柏中の先生方が大好きです。

校長先生。私たちの修学旅行が安全で、最高の三日間になったのは、校長先生のおかげです。それだけでなく、部活の大会や発表会のとき、たくさん足を運んで、激励の言葉をくださったから、よりいっそう頑張ることができました。

先生。先生が担任のクラスになってみたかったな。先生はダメなことはダメだと叱ってくれる先生です。立場が変わっても先生がずっと近くに来てくれたから、私たちは成長することができました。先生は私たちの学年にとって特別な先生です。

先生。私は先生の歌が大好きです。道徳の時に歌ってくれた、自作の歌からは、先生が感じた戦争の虚しさが伝わってきました。大事なことを歌で伝えてくれた先生は初めてで、私にとって特別な授業となりました。

先生。先生には、一番自分のことを話した気がします。いつも責任感にあふれ、自ら手本を示してくれる先生だから、なんでも打ち明けられました。先生とまた恋バナとかしたいな。先生のおかげで、幸せと書いて最幸な学校生活を送れました。

先生。今年の体育祭は不安なことばかりでしたね。無事に体育祭を終えた後、放課後の教室で先生は「感動しちゃった」と涙を流してくれました。先生の涙を見て、私は頑張りが報われた、と嬉しくなったのを覚えています。生徒と一緒に戦う担任でいてくれて、感謝しています。

先生。先生はいつも何事にも全力な人です。私たちの嬉しいことを、自分のことのように喜んでくれる先生。そんな先生が撮った写真に写る私たちは、いつも満面の笑顔でした。先生が全力で応援してくれるから、私たちは頑張れました。

そして、先生。今、ここにいる私たちの姿はどうですか。先生の自慢の生徒になれていますか。先生はこの三年間、私たちに大きな声で叱ることもありました。厳しいことを言われて受け止めきれないときもありました。でも、時々「みんなに成長してほしいと思っているんだよ」と本音をこぼしてくれましたね。先生が私たちに厳しくしてくれる理由、ちゃんと伝わっていますよ。私がこの三年間、頑張れた理由の一つは、先生がほめてくれるときの表情が見たいからでした。

先生が私たちに選んだ曲、「プレゼント」を、私たちはこの後歌います。この歌の「今、君がいる世界がつかなくて泣きそうでも、それさえもプレゼントだったと笑える日が必ず来る」という歌詞。このプレゼントは、先生のことを思い出して歌いたいです。これから先、つらいことがあっても、先生がプレゼントしてくれたこの歌を聴き、楽しい日々を思い出しますね。三年間、本当に、お世話になりました。

一、二年生のみんな。柏中には、ダメなことはきちんと叱ってくれ、私たちに嬉しいことがあると一緒に喜んでくれる先生がたくさんいます。最強の味方です。だから、安心して中学校生活を楽しんでね。いつも笑顔で、元気で、だけど集中するときは真剣で。そんなみんなにたくさん助けられました。学年が変われば不安なこともあるだろうけど自分らしく頑張っていれば大丈夫。今を精一杯生きてください。三年生になってからの一年はあつという間です。今、隣に座っている人との時間を大切にしてください。

そして、同級生のみんな。今まで本当にありがとう。旅行行事では、三年間、班別行動に臨んだね。ぶつかり合うこともあったけど、それを乗り越えて迎えた当日は全力で楽しめました。みんなと過ごした三年間は、困難なことたくさんありました。先生方に迷惑をかけて、厳しく叱られることも、よくあったよね。でも、そこで挫折せずに自分たちなりに考え、工夫して乗り越えてきました。そんなみんなとは、小学校から九年間という長い時間を過ごしたのに、まだ一緒にいたいと心から思います。まだまだ話したいことがたくさんあるのに、時間が足りないね。これまで作り上げてきた思い出を大切にしていこうね。寂しい気持ちもあるけど、私たちは進んでいきます。高校に行っても、私たちがらしく頑張っていこうね。

今日この日を元気に迎えることができたのは、今までずっと私たちを支え、見守ってくれたお父さん、お母さんのおかげです。自分のやりたいことを全力でやらせてくれて、ありがとう。受験期には、夜遅い時間でも毎日送り迎えをしてくれてありがとう。エネルギーがつくように、お弁当を作ってくれて、お菓子を買っておいでしてくれて、ありがとう。一つ一つの優しさが嬉しかったです。いつも支えてくれるからこそ、私たちがなりたい自分に向かって、進んでいくことができました。

これからも迷惑をかけると思うけど、見守っていてください。これからも、よろしくね。

本日も多忙の中ご出席くださいましたご来賓の皆さまに、卒業生一同心よりお礼申し上げます。

結びに、このような素敵な式を開いてくださったことへの感謝と、柏原中のみなさんが笑顔で輝かしい日々を送れることを願って、卒業生代表の言葉とさせていただきます。

令和七年三月十四日 卒業生代表

今年度、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。